

音楽科の目標

- ◆音楽表現を楽しむために必要な器楽、歌唱技能を身につける
- ◆曲や演奏の楽しさを見出しながら、音や音楽の楽しさを味わう
- ◆音や音楽に楽しく関わり、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う

（参考）H30年度 6月「音楽会をしよう」

成果と課題	◎音楽会という形で地域の方と関わりが持てた ▲音楽会当日しか交流できなかった
次年度の志向	音楽会に向けて、様々な形で関われるような機会をつくる（教科横断的な視点で）

R1年度 6月「音楽会をしよう」の授業づくり



地域資源の活用と協働を通して

- ◆音楽科を中心とし、外部の方に向けて発表する機会を通して、教科等横断的で深い学びにつなぐ
- ◆高齢者の方々との交流を通して、他者との関わりにおける経験を広げる

施設利用者や職員との交流

- ◆リクエストのインタビュー、ポスター渡しを目的とした数回の施設訪問
- ◆事前に会場の下見とリハーサルの実施
- ◆利用者の方とふれあいができるような内容の設定

「子どもたちが来てくれることで利用者の方も喜んでおられます！」
（施設職員の方のコメント）



教科等横断的な学び



国語

- ◆リクエスト曲のインタビュー
- 算数
- ◆リクエストの結果の集計

音楽

- ◆おじいちゃんやおばあちゃんに伝わるような歌い方や演奏は？



◆楽しんでもらえるように頑張るぞ！

図工



◆歌詞カード作り

国語



◆ポスター作り

意識の高まり

・「どんな曲が好きなのかな？」
・「この曲を歌うと良いかも！」



・「一緒に歌ってくれるかな～」
・「どんな文が伝わるかな～」

意欲の高まり

取組の成果



- ★音楽の**楽しさを実感**
- ★**学ぶ目的を意識**する経験
- ★発表で得た**自信や喜び**
- ★**他者の役に立つ**経験

学びの深まり（11月時 すずかけ祭り 児童の変容）

【目的を自ら意識する姿】

- ★来てくれたお客さんにお土産を準備したいな～
- ★お客さんに僕らが作ったゲームの説明をしたい！

【人前が苦手だった児童】

- ★ダンスを大きな動きで発表することができるようになった！
- ★ステージ中央でも、動きが硬直せずに堂々と踊ることができた



次年度に向けて

◎地域資源との協働による、教科横断的な取組の効果を実感
各教科の学習が有機的につながり、学びを深めることができた
▲もっと交流する機会があればよい（年間に渡って）

★地域との連携の幅を広げ、学びのさらなる充実へ！

（案）・地域の方をゲストティーチャーとして招いて学ぶ
・立田山の自然について黒髪4町内の方々に教わる
・敬老の日を柱とした教科横断的な学習場面の設定